



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年8月13日

上場会社名 株式会社 鴨川グランドホテル 上場取引所 東  
コード番号 9695 URL <http://www.kamogawagurandhotel.ne.jp>  
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)鈴木 健史  
問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)四野宮 章 (TEL) 04 (7094) 5581  
四半期報告書提出予定日 平成26年8月14日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の業績 (平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	791	△0.2	△56	—	△68	—	△22	—
26年3月期第1四半期	793	13.0	△42	—	△62	—	△11	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
27年3月期第1四半期	円 銭 △2.17	円 銭 —
26年3月期第1四半期	円 銭 △1.13	円 銭 —

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
27年3月期第1四半期	百万円 6,440	百万円 770	% 12.0	円 銭 16.32
26年3月期	6,473	770	11.9	16.34

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 770百万円 26年3月期 770百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
26年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(A種優先株式)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

### 3. 平成27年3月期の業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第2四半期(累計)	1,900	△2.7	80	0.4	35	△15.4	△35	—	円 銭 △3.35
通期	3,700	1.6	100	145.5	10	—	△65	—	△6.23

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### ※ 注記事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

（注）詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

（注）詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

27年3月期1Q	10,453,920株	26年3月期	10,453,920株
27年3月期1Q	18,434株	26年3月期	18,336株
27年3月期1Q	10,435,537株	26年3月期1Q	10,436,531株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

#### ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビューは終了しております。

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

#### 種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	0.00	0.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第1四半期累計期間 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7
(5) セグメント情報等 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀による経済・金融政策により企業収益や雇用情勢が改善される等緩やかな回復を辿っておりますが、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動や円安による原材料価格の上昇等が消費活動に影響を与え、先行き不透明な要因として残っております。

リゾートホテル業界におきましても、海外旅行は円安の影響等で伸び悩んでおりますが、国内旅行は景気回復による旅行需要の回復を背景に堅調に推移しております。しかしながら、太平洋沿岸部の地域におきましては依然として風評被害による厳しい状況が続いております。

そのような状況の中で当社は、引続き販売力の強化並びに収益力の回復を主要課題とし取組んで参りました。ビジネスホテルは新たな販売手法が軌道に乗り高稼働率を維持、リゾートホテルにおきましても、同様の営業手法の導入により成果を上げつつあります。

主力ホテルが太平洋沿岸部にある当社は、東日本大震災による津波・放射能汚染等の風評被害は続いており、これを打開すべく鴨川グランドホテルにおいて大浴場の改装等リニューアル工事を実施、その影響で一時的に稼働が低下致しました。

その結果、当第1四半期会計期間の営業収益は791百万円と前年同四半期と比べ1百万円（0.2%）の減収となり、営業損失56百万円（前年同四半期は42百万円の損失）、経常損失68百万円（前年同四半期は62百万円の損失）、四半期純損失22百万円（前年同四半期は11百万円の損失）となりました。

### （2）財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ32百万円減少し、6,440百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ199百万円減少し、761百万円となりました。これは主に、現金及び預金が131百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ166百万円増加し、5,679百万円となりました。これは主に、建設仮勘定が169百万円増加したことによるものであります。

流動負債は、前事業年度末に比べ29百万円減少し、4,949百万円となりました。これは主に、未払金が28百万円増加したものの、1年内返済予定の長期借入金15百万円、賞与引当金13百万円及び未払法人税等が12百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ2百万円減少し、720百万円となりました。

純資産は、前事業年度末と同額の770百万円となりました。

### （3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期の業績は、前期に引続き東日本大震災や鴨川グランドホテルのリニューアル工事の影響等が重なり厳しい状況にありましたが、第2四半期は、夏季シーズンを迎え主力であるホテルの稼働が最も高くなる期間であり、好天に恵まれており第2四半期累計期間及び通期業績共に当初予想に変更はございません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期会計期間末の貸倒実績等が前事業年度末に算定したものと比べ著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### 会計方針の変更

##### (退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直しました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期会計期間の期首の退職給付引当金が15百万円減少し、利益剰余金が15百万円増加しております。なお、この変更による損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表

（1）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	586,731	455,638
受取手形及び売掛金	183,422	131,556
たな卸資産	52,875	49,247
未収入金	67,976	52,338
その他	69,435	72,532
貸倒引当金	△253	△183
流動資産合計	960,188	761,129
固定資産		
有形固定資産		
建物	12,224,527	12,241,494
減価償却累計額	△8,572,560	△8,619,296
建物（純額）	3,651,966	3,622,197
構築物	519,826	519,826
減価償却累計額	△469,929	△470,707
構築物（純額）	49,897	49,118
機械及び装置	228,129	229,114
減価償却累計額	△203,479	△203,984
機械及び装置（純額）	24,650	25,129
車両運搬具	35,169	35,051
減価償却累計額	△30,434	△30,983
車両運搬具（純額）	4,735	4,067
工具、器具及び備品	847,699	848,772
減価償却累計額	△768,608	△767,179
工具、器具及び備品（純額）	79,091	81,593
土地	1,086,529	1,086,529
リース資産	66,640	75,662
減価償却累計額	△51,507	△51,643
リース資産（純額）	15,133	24,018
建設仮勘定	53,108	222,926
有形固定資産合計	4,965,112	5,115,581
無形固定資産		
投資その他の資産	31,516	38,210
投資有価証券	110,231	119,944
差入保証金	240,072	240,072
保険積立金	143,150	143,150
その他	30,026	36,053
貸倒引当金	△7,004	△13,329
投資その他の資産合計	516,475	525,891
固定資産合計	5,513,105	5,679,683
資産合計	6,473,293	6,440,812

（単位：千円）

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	76,192	81,006
短期借入金	3,879,325	3,869,856
1年内返済予定の長期借入金	614,942	599,406
未払金	9,745	38,392
未払費用	199,714	202,701
未払法人税等	16,275	4,150
未払消費税等	18,663	22,290
賞与引当金	27,306	13,814
その他	136,843	118,114
流動負債合計	4,979,008	4,949,733
固定負債		
繰延税金負債	9,940	13,063
退職給付引当金	150,239	138,452
役員退職慰労引当金	17,791	17,791
長期預り保証金	534,872	532,222
その他	10,880	19,207
固定負債合計	723,723	720,736
負債合計	5,702,732	5,670,469
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	626,761	626,761
資本剰余金	498,588	498,588
利益剰余金	△371,836	△378,637
自己株式	△3,977	△4,001
株主資本合計	749,534	742,711
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	21,026	27,631
評価・換算差額等合計	21,026	27,631
純資産合計	770,561	770,342
負債純資産合計	6,473,293	6,440,812

（2）四半期損益計算書

第1四半期累計期間

（単位：千円）

	前第1四半期累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年6月30日）	当第1四半期累計期間 （自平成26年4月1日 至平成26年6月30日）
営業収益	793,673	791,987
営業費用	836,642	848,677
営業損失（△）	△42,969	△56,690
営業外収益		
受取保険金	-	2,333
助成金収入	-	37
その他	5,148	9,049
営業外収益合計	5,148	11,420
営業外費用		
支払利息	23,754	23,065
その他	428	14
営業外費用合計	24,183	23,079
経常損失（△）	△62,004	△68,349
特別利益		
受取補償金	53,270	48,549
特別利益合計	53,270	48,549
特別損失		
固定資産売却損	70	-
固定資産除却損	851	718
特別損失合計	922	718
税引前四半期純損失（△）	△9,655	△20,518
法人税、住民税及び事業税	2,108	2,108
法人税等合計	2,108	2,108
四半期純損失（△）	△11,764	△22,627



（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません

（4）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません

（5）セグメント情報等

I 前第1四半期累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期損益 計算書 計上額 (注3)
	ホテル関連	リゾート 関連	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	632,053	131,855	763,909	29,763	793,673	—	793,673
セグメント利益又は 損失（△）	△26,611	2,553	△24,057	△2,272	△26,330	△16,638	△42,969

（注）1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リネン事業及び清掃事業等を含んでおります。

2 セグメント損失の調整額△16,638千円は、各報告セグメントに配分していない本社部門の費用であります。

3 セグメント損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期損益 計算書 計上額 (注3)
	ホテル関連	リゾート 関連	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	633,479	129,281	762,761	29,225	791,987	—	791,987
セグメント損失（△）	△30,269	△7,311	△37,580	△2,418	△39,999	△16,691	△56,690

（注）1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リネン事業及び清掃事業等を含んでおります。

2 セグメント損失の調整額△16,691千円は、各報告セグメントに配分していない本社部門の費用であります。

3 セグメント損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。